



田原の杜

北九州市立田原中学校
 学校通信 後期学校評価特集号 No. 1 2
 発行責任者 校長 寺田 訓康
 TEL 472-3321
 令和5年1月13日発行

■ 1, 2学期を振り返って。

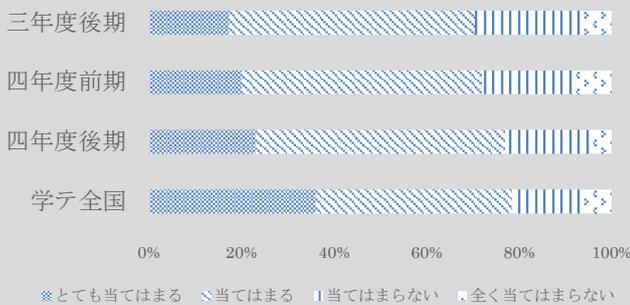
あけましておめでとうございます。
 今年もよろしくお祈りします。

1月10日(火)より3学期が始まりました。学校にまた、皆さんの元気な笑顔が戻ってきました。2023年も皆さんと一緒に楽しい田原中学校を作っていきますよ！

さて、2学期末に生徒や保護者の皆さん、先生たちに学校評価アンケートを取りました。その結果から今年の田原中を考えてみたいと思います。

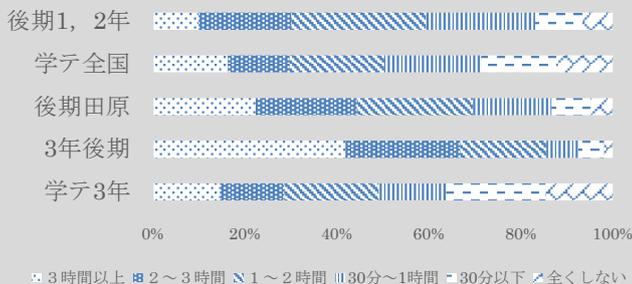
2学期皆さんの活動は大変すばらしいものでした。その結果が、アンケートにも表れていて、ほとんどの設問で前期よりも上回っていました。その一つが「自分には良いところがある」と感じている人が増加しているところです。(図1) 昨年の文化発表会のスローガン「創造！もっと自分や周りの友達を好きになる！」を実現していてすばらしいと思います。ただ、全国の中学生は、もっと自分に誇りを持っています。3学期も、もっと自分や友達の素晴らしさに気づいてもらいたいと思います。

図1 自分には良いところがある



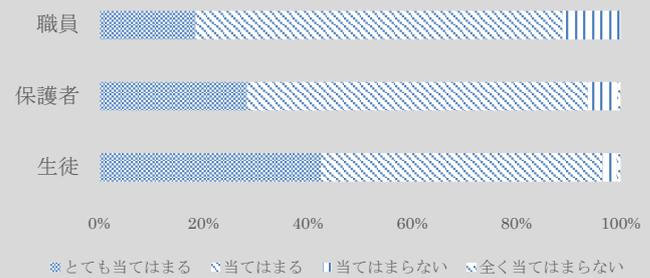
また、学習時間の増加も目を見張るものがあります。(図2) 3年生は、全国学力テスト時と比べると、大幅に増加し、「全くしない」と回答した人はほとんどいませんでした。また、1, 2年生は、全国学力調査(全国の3年生の4月の段階)と比べ、「全くしない」人は現段階でも少なく、皆さんに家庭学習の習慣が身についたと思われる。始業式にもお話ししたように、

図2 家庭学習時間



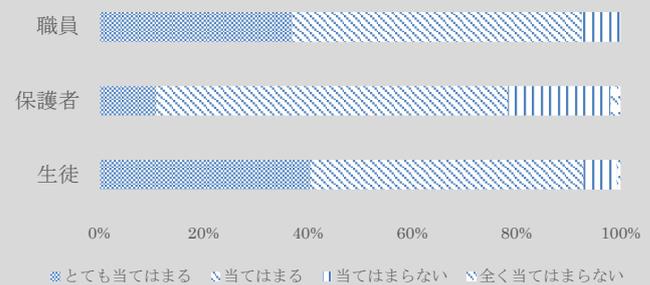
「勉強する喜び」や「分かったという楽しさ」などが感じられると一層意欲もわくと思います。3学期は時間だけでなく「学び方(勉強の仕方)」も工夫してみてくださいはどうでしょうか？

図3 規律が身についている



保護者の方と先生たちと皆さんの意識の違いはどうでしょうか？図3は、「規律が身についていますか」という質問に対してです。ほとんどの皆さんがきちんとルールを守っています。先生や保護者の方もそう感じています。しかし、時々授業に遅れたり、服装違反をしたりする人を見ることがあります。残念ながら保護者の方や先生たちは、そういった場面を見るとその印象が強に残ってしまうことがあります。そのために、意識の違いが出ているのではないのでしょうか？多くの皆さんがきちんと過ごしていることは間違いありません。そのことを知ってもらえるようにお互いで気が付いたことがあれば声を掛け合ってみませんか？

図4 ボランティア活動が盛んだと思いますか？



また、ボランティア活動については、保護者の方へのお知らせが足りなかったと反省しています。皆さんたちが「あいさつボランティア」や「環境ボランティア」として損得を抜きにして頑張ってくれています。後述しますが、模範的な活動として福原賞をいただきました。これからは、このような皆さんの素晴らしい活動を、保護者や地域の皆様知って戴けるように努めていきます。

最後に、アンケートに協力していただいた保護者や生徒の皆様、お忙しい中ありがとうございました。今後も継続して調査を行い、これからの田原中学校の指針としていきます。これからもよろしくお願いします。

■ 日々の活動で福原賞をいただきました。

北九州市には、他の模範となる活動をした小・中学生を表彰する福原賞という制度があります。今年度、「登校時の明るい挨拶と校内環境美化」と「地域の文化財保護」において、それぞれ「あいさつ・環境ボランティア」と年組の 君が選ばれました。

皆さんご存じのように、「あいさつボランティア」は、毎朝登校時、正門付近で登校する生徒の皆さんに「おはようございます」とあいさつをしてくれています。暑い日も寒い日も、雨の日や風の日も毎日10人近くの皆さんが声をかけてくれることによって、

さわやかに一日が始まります。田原中の皆さんにとっては当然のことかもしれませんが、こんなに多くの生徒が参加しているあいさつ活動は、他校ではなかなか見ることができません。また、「環境ボランティア」は、正門から中庭にかけて季節のお花を植え、そして水やりなどのお世話をしてくれています。おかげで、田原中には、いつでも花が咲き、昼休みには、花壇の近くでお話をしている人たちもいて、ほのぼのとした気持ちになります。このような活動は、何かもらえるからするというわけではありません。あいさつが返ってこないことがあるかもしれませんが、お花を見ても誰が植えたのか分からないかもしれません。でも、昨日嫌なことがあっても朝のあいさつで元気をもらう人がいるかもしれません。小さな花を見てさわやかな気持ちになる人がいるかもしれません。そのために、頑張ってくれている人がいるというのは田原中の誇りです。今回の賞は、先輩方を含めたそんな人々の成果だと思います。

また、皆さんが住んでいるこの地区は、古墳やお城など歴史的に貴重な施設が数多く存在しています。しかし残念ながら、先生を含め多くの方がそのことに気づいていません。そして、その貴重な文化財がきちんと保存されずに、朽ちてしまいそうになっています。



雨天でのあいさつの様子



花壇の前だと話も弾みます。

君は、どうかこの貴重な遺跡をきちんと保存したいと考え、郷土歴史研究会に所属し、会員の方たちと遺跡保存の手伝いや、地域の方たちと一緒に遺跡を回って広報活動を行っています。末松君は、遺跡をきっかけに、多くの人にこの地域の良さを知ってもらいたいと考えています。今年度の文化発表会には、レポートを発表してくれました。

このように、田原中学校には、目立たないけれど様々な場面で活躍してくれている人がたくさんいます。よかったら、「私は、こんな活動をしていますよ。」とか「〇〇さんは、こんな親切なことをしていました。」など知っていることがあったら教えてください。そして、この輪が広がっていったらいいなと思っています。



君のレポートの一部（貫氏のお墓の周りの清掃活動の様子）